

学校図書館だより

6月号

令和7年 6月2日発行
港区立青山中学校
校長 佐々木 希久子
学校司書 三島 裕美
学校図書館支援員 武田 優子
桑畑 恵美
小川 順子



新学期が始まって2カ月が経ちました。新しい学年には慣れましたか？6月は梅雨に入るので体調を崩しやすい時期です。疲れた時は体を休めて家でゆっくり過ごしてください。

そんなゆっくり過ごしたい時、時には本を手にとってみてはどうでしょう。テレビやスマホとは違った、新しい発見があるかもしれません。雨の音を聞きながらこの季節の読書を楽しんでください。

6月10日(火)～7月7日(月)

今年も図書館で七夕飾りをします。短冊に願い事を書いて飾ってください。誰でも参加できます！

※願い事なので、人を傷つける内容、個人が特定される内容のものは飾れないので気をつけてください。

<今月の特集展示>

『チャレンジ』

6月6日はお稽古の日です。昔からこの日にお稽古を始めると上達するといわれています。

この機会に、皆さんも語学やスポーツなど新しいことに挑戦してみてはどうですか。

<常設展示>

- ・中学生に読んでほしい30冊
- ・今月の給食
- ・SDGs
- ・図書委員会図書だより紹介本
- ・朝読書におすすめの本
- ・本屋大賞関連本

雨の日は図書館へどうぞ！ 図書委員会イベント

「図書館物語」開催中です♪

「図書館物語」はお話をリレー形式でつなげて、みんなで一つの物語を作るイベントです。完成したらお昼の放送で発表する予定です。

いま書かれているお話の書き出しを紹介します。

昔々、あるところに後ろ向きで歩くのが趣味の少年がいた。その少年の名は田中・マイケル・ジャクソン。後ろ向きで途方に暮れていたら、ある横向きで歩く少女とぶつかったー

どうですか？続きが気になりますよね？
続きを書きたくなりますよね？
皆さんの参加をお待ちしています！



参加資格：図書館に来た人は誰でも参加できます。

先生もぜひ参加してください！

参加方法：図書館カウンターにある「図書館物語ノート」に続きのお話を書きます。書き終わったらペンネームやイニシャルなどを書いてください。

注意事項：本文には実在する人の名前は使わないでください。
：ひとの悪口や不適切な内容は書かないでください。

名作まちがいさがし

『夢十夜』

夏目漱石



山門で仁王像が彫られていると聞き、散歩がてらに見に行ってみると、明治の世のはずなのに、鎌倉時代の仏師、運慶がいました。彼が無造作に鑿と槌を振るうと、像の眉や鼻がみるみる出来上がっていきます。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。



★激ムズポイントのヒント:はしご

作品の概要・解説

「こんな夢を見た」で始まる、夢をテーマにした一〇の短編を集めたのが『夢十夜』で、明治四二(一九〇八)年、東京朝日新聞で連載されていました。

「また逢いに来ます」と言い残して世を去った女。彼女を待ち続けた男は……。 (第一夜)

我が子を背負って、夜道を歩いていると、子が不気味なことを話し始めます。(第三夜)

鎌倉時代の仏師である運慶がなぜか現代に現れ、仁王像を彫っています。(第六夜)

ロマンチックなものや、怪談風のもの、幻想的なもの、不条理なものなど、語られる夢はさまざまです。どれも五分程度で読めますが、短さゆえに、いろいろな深読みもできそうです。

夏目漱石(一八六七―一九一六年)は「こころ」「吾輩は猫である」など近代文学の名作を著した一方で、怪奇・幻想的な味わいが濃い作品もいくつか残しています。『夢十夜』のほか、「倫敦塔」「幻想の盾」「琴のそら音」「趣味の遺伝」など、いわゆる文豪のイメージとは少し異なる漱石の作品を、読んでみましょう。

*『夢十夜』は岩波書店や立東舎など、各社から発行されています。また青空文庫でも読むことができます。

6月おすすめの本

『「物語」のつくり方入門 7つのレッスン』 901/マ

円山夢久/著 (雷鳥社)



「物語を書いてみたい。」と思ったことはありませんか?この本は、料理本にまず食材の切り方が書いてあるように、初めて物語を書く人にわかりやすい「基礎的な手順」が書かれています。青山中学校図書館イベント「図書館物語」をきっかけに、あなたもあなたの物語を書いてみませんか? (武田)

『アイデアはどこからやってくる?』 141/イ

岩井俊雄/著 (河出書房新社)



「100かいだてのいえ」シリーズの作者がおくるアイデアにまつわる本。奇想天外なアイデアがどこからくるのか…作者が自分の生い立ちを紹介しながら、説明しています。これを読んだら、あなたも素晴らしいアイデアが浮かぶかも!? (桑畑)

『あと少し、もう少し』 913/セ

瀬尾まいこ/著 (新潮社)



図書館には今『中学生に読んでほしい30冊』を展示しています。そのうちの1冊で、仲間と走るリレーを通じて、心が通い合い、成長していく中学生たちの姿に胸が熱くなる青春小説です。感動の物語をぜひ味わってください。 (小川)

『でんでんむしのかなしみ』 913/ニ

新美南吉/著 (新樹社)



わたしのせなかのからにはたくさんのかなしみがつまっている。自分自身の悲しみに気づいたでんでんむしは、友達に悲しみを伝えますが、やがて誰しも悲しみを抱えていることに気が付きます。悲しみを共有することで生まれる深い共感と愛。この季節、雨を眺めながら読んでみてください。 (三島)

*掲載した書影は、国立国会図書館サーチの書影APIのデータ(データ提供機関: 出版情報登録センター)を利用しています。

*先月号で紹介した辻村深月さんの本が『かがみの孤城』となっていました。正しくは『かがみの孤城』です。